

平成23年度 第39回 岐阜県高等学校選抜バスケットボール大会
 兼 第42回 全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会県予選会
 大会最終日:平成23年11月3日(木)
 会場:ヒマラヤアリーナ

男子の部

<審判>

決勝 岐阜農林 78 $\left[\begin{array}{l} 20 - 19 \\ 22 - 12 \\ 19 - 16 \\ 17 - 27 \end{array} \right]$ 74 美濃加茂 増田博徳・名越龍男

岐阜農林はハーフコートマンツーマン、美濃加茂はオールコートマンツーマンでスタートする。第1ピリオド、岐阜農林 吉田が3本連続でミドルシュートを決めれば、美濃加茂は 范のゴール下シュートで応戦し、互角の戦いとなる。第1ピリオドは岐阜農林が20-19と1点をリードする。

第2ピリオドに入ると、岐阜農林は 早崎が3本の3点シュートを含む15得点をあげる活躍を見せ、速い展開のバスケットで試合の主導権をつかむ。対する美濃加茂は、 范、 赤土のインサイドを中心に攻めるが、思うようにシュートが決まらない。前半は岐阜農林が42-31とリードして折り返す。

第3ピリオド、岐阜農林は3-2ゾーン、途中からは2-3ゾーンで相手の出足を止め、攻めては 田中がドライブ、速攻を決め、要所で 林、 小島が3点シュートを決める。美濃加茂は 横山が3点シュート、 范がジャンプシュートを決めるが、なかなかリバウンドが取れず攻めあぐむ。第3ピリオドで岐阜農林が61-47とリードして最終ピリオドを迎える。

第4ピリオド、岐阜農林は相手の猛反撃に苦しみ、次第に追い上げを許すものの、 田中が6得点、 吉田が4得点と、落ち着いてシュートを決め、最後は4点差の78-74で勝利し、10年ぶり27回目の全国選抜優勝大会への出場を勝ち取った。美濃加茂はオールコートゾーンプレスに変えて懸命の守りから、 松井が2本の3点シュートを含む10得点、 范が8得点をあげて必死に追い上げ、残り54秒には4点差まで詰め寄った。しかし最後は相手にかわされ、追い上げきれなかった。(林紗規子)

女子の部

<審判>

決勝 岐阜女子 103 $\left[\begin{array}{l} 23 - 5 \\ 28 - 19 \\ 30 - 15 \\ 22 - 21 \end{array} \right]$ 60 岐阜総合 棚橋英一・林 義貴

第1ピリオド、岐阜女子はオールコートマンツーマン、岐阜総合はハーフコートマンツーマンでスタートする。岐阜女子は 梶川の3点シュートで先制すると、激しいディフェンスから相手のミスを誘い、 松島、 梶川の速攻で得点していく。岐阜総合は、相手のディフェンスをなかなか攻めることができず得点が入らない。途中、3-2ゾーンにして流れを変えようとするが、うまく機能しない。岐阜女子はさらに、速いパス回しから 森沢のドライブや、 近田のジャンプシュートで着実に加点していく。第1ピリオド、23-5と岐阜女子がリードする。

第2ピリオド、岐阜女子は 森沢のドライブに合わせて、 近田、 野原のゴール下シュートで着実に得点していく。ようやく落ち着きを取り戻した岐阜総合は、 羽賀、 鈴木の3点シュート、 越田のゴール下シュートで追い上げを図るが、点差は縮まらない。前半は、51-24と岐阜女子が大きくリードして折り返す。

第3ピリオド、岐阜女子はすばやいパスの展開から、インサイドの合わせのプレー、的確なジャンプシュート、さらに積極的なオフェンスリバウンドからのシュートで点差を広げていく。岐阜総合も 渡部のジャンプシュート、 牧田の3点シュートで追い上げを図るが、ディフェンスリバウンドに苦しみ点差を縮めることができない。

第4ピリオドに入り、岐阜女子はベンチメンバーを出場させるが、交代した選手も激しいディフェンスから速攻につなげ、主導権を渡さない。 水野の速攻や、 鐘ヶ江、 米谷の3点シュートで得点を伸ばし、最後は103-60で圧倒的な力を見せ、20年連続21回目のウィンターカップ出場権を得た。岐阜総合もディフェンスの頑張りから 牧田の3点シュート、 渡部のジャンプシュート、さらに 羽賀、 牧田、 越田の速攻で得点をあげるなど必死の反撃を見せたが、前半の点差が大きすぎた。(吉福司)